



慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社 オークネット：1992

オークネットは、衛星通信という最先端のコミュニケーション装置を用いて、中古自動車の売買を仲介する事業を始めた企業である。会社設立は、平成2年1月、源流に溯っても昭和59年3月という比較的、若い会社である。しかし、衛星を用いたテレビ・オークション・ビジネスは、隆盛の流れを得、成長には著しいものがある。ところが、その成長に起因して、最近、オークション成約に伴う運転資本増加が、懸念材料の一つになってきた。加えて、来春（1993年春）にも予定されている全米でのネットワーク事業に必要な投資およびその後の事業展開に必要な資金需要が同社の将来にどのようなインパクトを持つのかについて、経営陣は思案中であった。

5

10

15

20

25

会社の沿革

株式会社オークネットという実質上の会社は、昭和59年3月9日、株式会社エフティーエフとして誕生し、同年9月21日に上記の如く商号変更を受けた後、株式会社フレックスオート商事に平成2年1月1日、吸収合併されたものである。吸収合併時に、商号は、変更され、株式会社オークネットの名称が継承された。フレックスオート商事の前身会社であった株式会社西武モータース商事（昭和57年3月11日設立）が、もともと中古自動車販売に関わっていたので、新会社の事業の主たる目的は、自動車流通市場における広範な情報提供業務とされた。吸収合併前の昭和60年1月、（株）オリエントコーポレーション（当時、（株）オリエントファイナンス）から資本参加を得、資本金が1億5,000万円となった。同社の最大の特色である中古車のテレビオークションが開始されたのは、昭和60年6月で、当時の参加会員会社数は、560社であった。その後、レーザー・ディスク方式によるテレビ・オークションから、その弱点を克服する衛星通信によるテレビ・オークションへと変更が図られた。変更がなされたのは、平成元年8月のことであった。また、中古車在庫交換システムである「テリストチャンネル」の稼働も、60年12月より、開始されるに至った。

30

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクールの太田康信が、クラス討議の資料として作成したもので、経営管理の適否を例示しようとするものではない。（1994年9月）